

客室コンセプト「ウェルビーイング」

ホテルはこれから、どんな「新しい価値」を創造できるかがキーワード。そのキーワードの1つとして世界的に注目されているのが「ウェルビーイング」です。この部屋のテーマは「リラクゼーション」。日ごろのストレスや疲れを癒すことのできるフレッシュな空間をイメージし、ゆっくり休めるベッドを中心にワークアウトも出来るスペースを体感いただけます。

Before



ハーマンミラー /フロアライト

(製品名:Nelson Cigar Lotus Floor Lamp /
ネルソン シガー ロータス フロアランプ)

デザイナー: ジョージ・ネルソン
ネルソン パブルランプ シリーズのひとつ、シガーロータス フロアランプは、細長い球体のフォルムを、フレームのすっきりとした平行線がさらに強調しています。スチール製のランプスタンドに固定され、あらゆる室内を柔らかく温かみのある光で照らします。



テクノジム/フィットネスキット

(製品名:テクノジムケースキット)

保護フィルムに上部に貼り付けた100%レザーのバックに収納された各ツールは、ユーザーが疲れからリカバリーして、快適な気分次々のアクティビティに臨めるようにデザインされています。バックタグについてQRコードからバーチャルトレーナーにアクセスできます。

After



ハーマンミラー /ブックシェルフ

(製品名:Story Bookcase /
ストーリーブックケース)

デザイナー: アフタールーム
ストーリーブックケースは多種多様に展開できます。書籍の木が林立する「森」を作ってみるのもよいでしょう。高さの異なるストーリーブックケースを組み合わせれば、類を見ないライブラリーが作れます。

パラマウントベッド /ベッド

(製品名:Active Sleep)

Active Sleepが目指すのは多くの人が、今までになかった「新しい眠り」に気づくこと。アプリで自分の睡眠状態を日々チェックして、ベッドの角度やマットレスの柔らかさを自由に変えながら今までになかった「新しい眠り」を体験してください。

<この部屋の香り>

「baobabコレクション」トーテム ブラックパール 2L……フレッシュで上品なジンジャーとブラックローズのブレンド

ハーマンミラー /サイドテーブル

(製品名:Nelson Pedestal Table /
ネルソン ペダスタルテーブル)

デザイナー: ジョージ・ネルソン
1954年にジョージ・ネルソンがデザインしたこのテーブルは、照明、ラップトップPCや電子書籍リーダー、本とコーヒーカップ、花瓶など、さまざまな用途で自由に使することができる名作です。ベースのすっきりした優雅なラインは、ネルソンデザインの真髄です。

ノーマンジャパン /ウィンドウトリートメント

(製品名:NORMAN®
スマートドレープシェード)

世界で愛される窓まわりブランドNORMAN®の縦型ウィンドウトリートメント。空調にも優しく揺れるU型シェードスラットで、柔らかなレース採光~生地によっては遮光1級まで調整可能。快適な機能性と空間価値を上げる意匠で最高のおもてなし空間を。

SONY /テレビ

(製品名:ソニー4Kブラビア /
型番:KJ-65X8000H[65インチ])

客室に設置した4Kブラビアではインターネット動画の鑑賞やスマートフォン、タブレットからのキャストなどの機能に加え、多言語に対応した客室インフォメーションを組み合わせることで、ゲストからの問合せ対応や朝食会場や温泉施設、コインランドリーの混雑状況といった場面での業務の効率化をサポートします。

※インターネット動画については、お客様のID/PASS、視聴履歴の自動削除に対応。

空間プロデュース: イエローコーナージャパン

<協賛企業>

ハーマンミラージャパン / SONY / テクノジム ジャパン / パラマウントベッドハンズグローエ ジャパン / ノーマンジャパン / カルテック / 中川政七商店 / ソレキア / プレイライフ

Before



ハーマンミラー／シーリングライト

(製品名:Nelson Saucer Bubble Pendant
/ネルソンバブルランプ ソーサーペンダント)

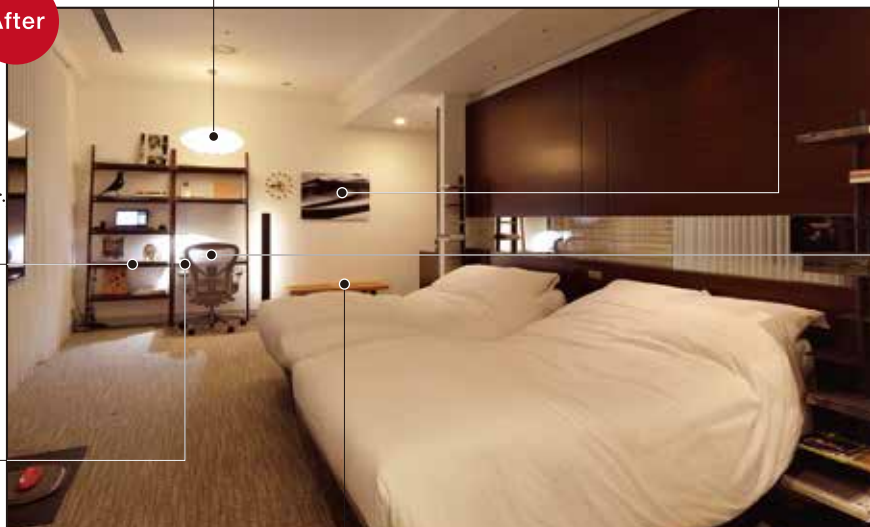
デザイナー: ジョージ・ネルソン
ネルソンバブルランプは魅力的な光を放つ、様々な球形のシルエットのランプシリーズです。ネルソンソーサーバブルペンダントは幅広いシェイプとスチール構造の流れる曲線が特徴的で、魅力的なフォルムから室内に柔らかな光を注ぎます。

YELLOWKORNER／アートフォト

(作品名:TAMAT / 作家名:JEAN-MARC DUROU)

毎日の生活にもっと気軽にアートフォトを取り入れてほしいという思いから、フランス・パリで誕生したアートフォト専門店。200名以上の作家の写真を7サイズ、9カテゴリーで展開。豊富な作品であらゆる空間をたのしく豊かにするご提案をしています。

After



ハーマンミラー／ブックシェルフ

(製品名:Folk Ladder Shelving / フォークラダーシェルビング)

デザイナー: ノームアーキテクト
洗練されたミニマルなデザイン—無垢の木が美しく象られたフレームと棚に使われており、壁にサイズに合わせてエレガントな収納スペースを演出します。

ハーマンミラー／ワークデスク

(製品名:Folk Ladder Desk / フォークラダーデスク)

デザイナー: ノームアーキテクト
限られたスペースにおいてもホームオフィスを簡単に設えられるミニマルな立て掛け型デスク。美しく象られた無垢の天板とフレームがシンプルでありながらもエレガントな収納空間を作り出します。

ハーマンミラー／ワークチェア

(製品名:Aeron Chair / アーロンチェア)

デザイナー: ビル・スタンフ & ドン・チャドウィック
アーロンが1994年にデビューして以来、ハーマンミラーは、一日の仕事を通して変化する様々な姿勢をサポートする最適な方法を蓄積してきました。健康に良いデザインと機能のために、20年間にわたって培った人間工学的な機能をアーロンチェアに取り入れました。

ハーマンミラー／ベンチ

(製品名:Nelson Platform Bench / ネルソンプラットフォームベンチ)

デザイナー: ジョージ・ネルソン
1946年に発表されたネルソンプラットフォームベンチは、今日に至るまでモダンデザインの象徴であり続けています。さまざまな用途に使えるアイテムです。

カルテック／空気清浄機

(製品名:TURNED K / 型番:KL-W01)

吸着フィルターを搭載しない、光触媒のみで除菌・脱臭が可能な「除菌・脱臭デバイス」は業界初優れた光触媒材料の開発力とその反応率を限界まで向上させる製品開発力により、これまでにない圧倒的なパフォーマンスでお部屋の除菌・脱臭を実現します。



ハンググローエ／シャワーヘッド

(製品名:レインフィニティ
ハンドシャワー 130 3ジェット)

ハンググローエ社が独自開発した新シャワーモード"パウダーレイン"。絹のように繊細でありながら、パワフルなシャワーに。静かな水音と、まるで水の菌に包まれたような今までにない体験をお楽しみいただけます。

SONY／スピーカー

(製品名:グラスサウンドスピーカー)

客室のインテリアに調和する美しいデザインの「グラスサウンドスピーカー」。透明な有機ガラス管を震わせてリアルなサウンドが部屋全体を満たします。音楽とともに優しい光が灯ることで、リラックスタイムを演出します。

※ワイヤレスでのハイレゾ音質に対応。

SONY／アイボ

(製品名:aibo)

「aibo (アイボ)」をホテルの「おもてなし犬」として客室やロビーに配置することで、ホテル空間に付加価値をもたらします。客室に入った瞬間に「aibo」が寄ってくることで、お客さまは自然と笑顔になれます。

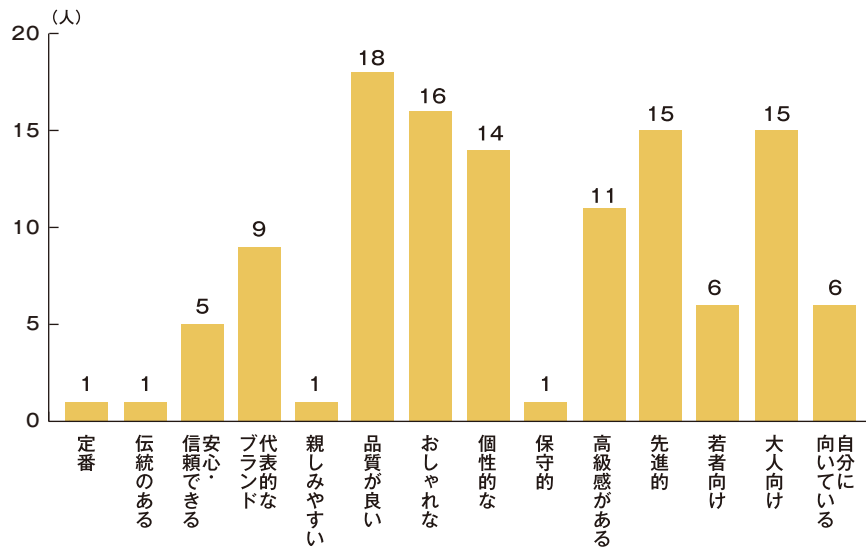
アンケート結果

＜ホテル ザ セレスティン東京芝＞

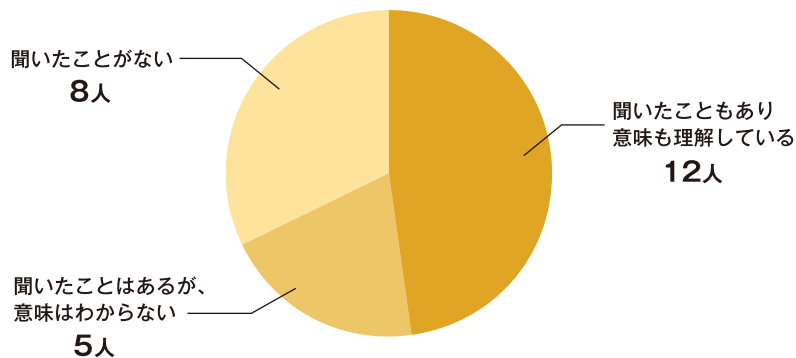
※アンケート結果を一部ハイライトとして紹介します。



Q. 今回の宿泊を体験してのイメージで当てはまるもの全てにチェックを付けてください。



Q. ウェルビーイングという言葉を知っていますか？



Q. 今回宿泊した客室内での過ごし方を考えて、自社の運営するホテル客室の課題などがありましたらお聞かせください。

- IoT化するうえでは、各システムとの連携を一括でできるようにならないと、ゲストにとってのメリットは薄れてしまう事が大きな課題と感じた。
- コロナ禍で、なかなか費用をかけてリノベーションができない状況(減収の中、経費削減がメインとなっている)。
- なかなか最新の様々なアイテムを取り入れられていないと感じました。特にお客様に提案するようなアイテムの数々は、参考となりました。
- 私はホテル運営者ではないのですが、仕事柄、多くのホテルに宿泊してみて、ホテル客室の課題として感じるのは、「圧倒的な個性」のある客室に出会うことが少ないという点です。例えば、エースホテルのように、各客室にギターとレコードプレーヤーが置いて、「アーティストが泊まるホテル」という世界観を体現するなど、ほかのホテルにない個性が出ていると、そのホテルのリピーターになると思います。その点で、今回のこの客室のように、究極の快眠を実現するベッドや、仕事の効率が上がりそうなハーモミラーの家具、部屋でエクササイズができるセット、癒されるアイボなど、テーマ性や目的性の強い付加価値があると、他のホテルとの明確な差別化ができるのではないかと思います。そして、もう一つ、最近の客室の課題として起こりえると思うことは、客室にIT関連のサービスや設備を入れることが増えていますが、それらのテクノロジー関連の不具合があった場合に、ホテルのスタッフの方々が技術的な対応をするのが難しいと思うので、使用方法が明快でシンプルな機器を導入するなどすると良いのではないかと感じております。
- 空間の演出は課題。ライトの当て方や色味、形、置き場所は模索するところ。ベッド近くの明かりの演出と、ベッド以外の明かりの強弱や色は特に課題と思う。
- 空間の演出が課題と感じており、明かりの度合い、明かりをつける場所は、心地よい宿泊施設であるためにもポイントになると考えている。
- 今回のコンセプトルームを体験して、改めてホテルの客室には驚きや新しさが無く、定番のものだけのつまらない客室になっていたと気づかされた。非日常を提供するホテルだからこそ寝るため以外の心地よさの追求をしなければ、今後生き残っていけないと感じました。
- 素敵な試みで大変快適に過ごさせていただきました。各フィーチャーされたアイテムは使用においてやや難しいものもあるかと思いますが、統一感を出すのに一苦労されたかと思います。ただ素晴らしい試みだと思いますし、大変勉強になりました。
- 当社は、平米数もございませうが、お部屋でリラックスできるコンセプトの数々は、大変、勉強になりました。特に、フィットネスキッドは、当社でも導入を検討いたします。

●ラグジュアリーホテルとして大人の空間を実現しながら、子どもが飽きないようにするにはどうしたらいいか。

●私が働いているホテルは15平米前後の部屋が多いビジネスホテルなので規模が違いすぎてなかなか参考にできる事がないが、置いてあるアメニティは今後検討したい。

●自社でホテルを運営はしていないのですが、多くのホテル様のコンセプト開発から企画デザイン及び設計、備品選定まで携わらせていただいております。今回宿泊体験をさせていただいて、改めて気づきとなったのは、【ベッド】です。当然のことながら、日本国内の通常レベル客室はこのお部屋ほどの広さがない場合が多いので、必然的にお客様がベッドの上で過ごす時間が増えます。そして、それは睡眠のみならず、スマホをいじったり、テレビを見たり、ときには軽食を食べたりと。

今回、このActive Sleepnの本来の目的と効用は、快眠や健康、それぞれウェルビーイングだと思うのですが、それ以上に客室の体験を大きく変える様々な提案ができる可能性を感じました。例えば食事モードというほぼ座位に近いものは、ベッドテーブルがあれば、パソコン作業に最適ですし、それですら目の前の65インチテレビがBluetoothでつながっていたら、一日中仕事や遊びで過ごせる、など。あとはお部屋の照明がスマホやタブレットで調整もいいですが、シェードカーテンの開閉が電動のほうが快適性は高いのではとも感じました。

●コンセプトにあったインテリアが使われていて全体的に落ち着いた空間だった。細かいディテール(配線の隠し方)に工夫があれば尚良かったと思います。

●色々なタイプのホテルをうんえいしていますが、独創性に少しかけているかも？

●ベッドの在り方について再考の必要性

●ベッドで過ごす時間が長い中で姿勢が選べる事は、価値が高いと感じました。今回はコロナ渦でありますがテイクアウトでのドリンクを部屋で飲めたのは良かったです。ナイトウェアが上下別であった事と夏の季節に合った薄手で着心地が良かった。部屋に気軽に体調管理できるものがあるのも大変便利でした。

●新しい日常において、ホテルの利用シーンに変化が出てきていると感じる。日常にあるものも生活シーンの中で変化していると思われるので、次のステップに向けた日常かつ上質な商品を届けていきたい。

●導線の大切さ。ターゲットの世代をどこに絞るのかの明確化。

●デザイン性の担保、メンテナンス

●各種設備の使い方を把握するのに時間がかかりすぎるのは快適感を損なう恐れがあると感じる

●自社は定番であるがゆえに差別化がしづらい。

●ただ単に滞在するだけでなく、テーマを持った宿泊施設、設備は新たな需要を作り出す可能性があると感じた。

●明るい室内の演出。採光の考え方。

Q. 今回の宿泊で得られた気づきなどありましたらお聞かせください。

●個人のスマートフォンとの連携の仕方をどうするかが重要であるということと、ブランド力のあるもので、満足度を得られる可能性

●コロナ禍において、大幅なリノベーションは難しいが、ちょっとしたアイテムなどで印象を変えることができることに気づかせて頂きました。(紙器やコーヒーなど印象的でした)

●やはり、「体験」だと思います。

●今回気づいたのは、ベッド、椅子、ソファ、照明器具、音響、香り、飲み物、アイボなど、あらゆるアイテムを総動員して、「究極のリラックス」をテーマにしたホテルをつくと、ニーズがあるかもしれないということです。ウィズコロナ時代は、おそらく旅行や出張による遠方からの宿泊客が減ると思います。そうなると、近隣(たとえば東京のホテルなら、都内からの客)からの宿泊客を獲得する必要があります。そう考えたときに、日ごとの疲れを短時間で癒やすために「究極のリラックス」を求めて、都内在住の人が近場のホテルに宿泊するというケースがありそうだと感じました。

●光の演出は参考になった。特に、ベッド上部の明かりは、明るすぎずちょうどよく演出されていて、ベッドの上でリラックスするのにも、いい塩梅のあかりだった。

●Room Lightのつける位置が、目に優しく心地よい印象をもった。スタンド式の明かりも調整式で使い勝手がよかった。自分好みの明かりに調整できることが居心地のよい雰囲気をつくるのに重要だとおもった。残念なのは、部屋の大きさからするとテレビの大きさはちょうどよいのかもしれないが、テレビからの光が強い過ぎて寝ながらテレビを見るのはきつかった。テレビの明かりを容易にできればいいと思う。

●自宅では体験できない、新しい体験(新商品やテクノロジーなど)を客室に導入することで、お客様の過ごしやすさに加えて商品購入につながると感じました。

●素敵な試みで大変快適に過ごさせていただきました。正直自宅で過ごしているような気分になりました。ある意味相当リラックスしていたんだと思いますが精神的にもWellbeingな滞在だったと思います。

● リラックスに特化しており、大変に勉強になりました。中川商店さんの小物も、今後、検証してみたいと思います。

● 子連れできたが、荷物を少なくするためおもちゃを最小限にして来たので客室で子供が飽きないか心配だった。(子供が飽きてしまうとうるさくなり、大人がゆっくりと過ごせなくなるため) しかしアイボがあったおかげで子供がずっとアイボをかわいがって楽しんでくれたので非常に助かったし、意外に簡単な解決法だと気づいた。大人向けのラグジュアリーホテルでも、子供が楽しめるように工夫してこそ大人もゆっくりできると感じた。

● アメニティが充実しており、参考になった。やはりこれほど充実していると満足度も上がると思う。

● 全体的にはIoTの活用により、いろいろなものが瞬時に【じぶんごと】になる、つまり自分の部屋になる時間が早くなったような気がします。音楽、光、コンテンツ、ベッドの角度にいたるまで。正直、もう住宅はいらなくなるのはそう遠くないな、と思いました。

私自身、2年おきに家族ごと引っ越しをして、自分のものはスーツケース2個分くらいしかありませんが、好きな時に好きな場所に行き、そこで仕事をして、地元のおいしいものを食べて、また季節が変われば北や、南に向かうと。近い将来暮らしはそうなります。今回体験したlotによる客室のカスタマイズのスピードが増したことも素晴らしいですが、本当の恩恵は中長期滞在だと思います。一泊のためには少々やるが多すぎる感もあります。もっと長くいたら、客室も自分になじみ、アイボももうすこしなつくかもしれません。いずれにせよ、私のような人間は【一人になる時間】がとても重要なので、すぐ自分の居場所を確立できるのはありがたいです。

● ホテル使用とは違ったインテリアを使っていて、個性が感じられた。

● 可動型ベッドの採用検討

● バスルーム、バスアメニティが一貫性がありバスタイムの充実につながっている

● 先進的な技術を用いたアイテムは、次の世代に向けて効果を発揮する一方、日常への普及が遅れているものは使用に躊躇する事も考えられる。上質な日常を送って頂きたい我々としては、ハードル無く使用頂けるアイテムを届けることが重要と感じた。

● 自分の所属しているホテルの 카테고리とは違っており、自社のターゲット以外のトレンドの一部を見られて勉強になった。

● 既製品建具の活用

● 今回のような斬新なアイテムをそろえて差別化をアピールすることも必要だと感じました。

● カーテンとインテリアのコーディネート

● 今回の設備、備品で大別して2種類あると感じた。一つはあると何となくいいもの、生活の質を良くして心地よいもの。もう一つはそのもの自体が価値を作っていて目的になるもの。前者はシャワーやカーテンやオットマン付きチェアや茶器など、後者はベッドやフィットネス機器、会議機能付きTVなど。前者はこれまで高級ホテルであれば、時代の進歩とともに追求し装備されてきた、これからは装備されていくだろうアイテム。後者はニッチなマーケットからシェア拡大の可能性を探るテストをするようなアイテム。ホテルとして生活をトライアルする場として提供する機会もありなのかと感じた。